

## 令和2年度学校評価実施計画

学校名	大分県立日田林工高等学校
-----	--------------

前年度評価結果の概要

- 重点目標および達成指標のおける数値目標については概ね達成しており、特に生徒の生活満足度や学科での学びを示す数値は高くなっている。授業改善については、今年度新たに「生徒が自分で学ぶ意義や喜びを感じることができてさらなる意欲を待つ」ことを目標としたが、数値を大きく伸ばすまでは至らなかった。次年度さらに工夫改善を要する。進路指導については、100%の決定を達成しており、国公立大学(鹿児島大)や公務員(国家、県職、市職等)への合格成果も残せた。専門学科における習得技能の向上やより高い資格や検定の目標値も十分にクリアできており、専門科の取りくみはさらに充実した。
- 安全安心な学校管理運営については、意識の高い分掌主任を中心に組織的な準備と対応があつて適切に進められた。重大事故や生徒事案は皆無であり、いじめ事案への対応も良好で年度内ですべて解消している。また、中学校時に長欠傾向にあつた生徒が全て入学後に欠席や欠課がなく、不登校ゼロは今年度も継続している。
- 専門科を中心に地域へさらに学校公開や広報をおこなつたが、定員割れとなつて点を次年度の大きな課題とする。中学校での出前授業や「地域高校の魅力化・特色化事業」などをさらに効果的に活用して地域での理解を深め、期待と信頼を得る必要がある。近年の特徴的な高校選択として、高い成果を求める部活動を理由とした日田市外の高校選択、さらに私学を専断するケースが増加している。従来の教育課程や部活動などの枠組みを超えた需要への対応に加えて、中学校早期もしくは小学校高学年からその保護者も含めた公立高校への理解を深める工夫が必要である。

学校教育目標	中期目標	重点目標
敬愛、勤勉、創造の校訓のもと、高い専門性を有し、自ら考え自ら行動できる心身ともに健全な生徒を育てる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人権尊重の精神で自他を敬愛し、調和のとれた人づくりを実践する学校にする。</li> <li>2. 規律ある生活習慣を確立させ、学ぶ力と自立する力を育成する学校にする。</li> <li>3. 生徒一人一人の希望進路が実現できるよう指導体制の充実した学校にする。</li> <li>4. 林業、工業の併設専門高校として専門性の高い実践力のある生徒を育てる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コミュニケーション能力を有し、人権を尊重する態度を育成し、調和のとれた生徒を育てる。</li> <li>2. 授業改善による基礎学力の定着と規律ある生活習慣の確立により希望進路の達成を図る。</li> <li>3. 体験学習を重視し「1.1」の精神でものづくりや資格取得に挑戦させ、専門性を高める。</li> </ol>

PL:プロジェクトリーダー、SL:サブリーダー

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL
《敬愛》 コミュニケーション能力を有し、人権を尊重する調和のとれた生徒を育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ボランティア活動(特に「ひた千年あかり」ボランティア)への参加人数を昨年度以上、部活動加入率を90%以上にする</li> <li>○人権学習HRAの生徒評価を1～4評価の3.0以上にする</li> <li>○Q-U検査における学級生活満足群の割合を60%以上にする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒会のリーダーシップを強化し、地域貢献やボランティア活動に積極的に取り組む。また、体験入部を通して、部活動加入率を上げる。</li> <li>○安心安全な部活動に関する環境を見直す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒会リーダー研修会を3月に実施し、月隈祭などの行事に早めの取り組み。</li> <li>○部活動オリエンテーションや体験入部期間を行い、部活動勧誘活動を活発に行う。</li> <li>○全校ボランティアである千年あかりを地域の人々を協力して成功させる。</li> <li>○週休日などの設定で部活動顧問に周知し、安心安全な部活動にするとともに、部室や学校管理自動車等のハード面での見直しも進める。</li> </ul>	PL:特別活動主任 SL:生徒会顧問
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権が身近で大事なものだと思え、自己肯定感を感じられるように教材や行事を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員研修や人権HRA(年3回)を適切に実施するとともに、生徒・教員による評価をふまえて取組の分析や精査による改善を行う。</li> <li>○「人権だより」を毎月発行し、人権教育にもついた行事や活動、HR運営を進める。</li> </ul>	PL:人権教育主任 SL:特別活動主任
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の安全、安心な学校生活のために、生活に関するアンケートやいじめアンケート、QU検査を活用し、生活実態の把握に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○QU検査結果を学年で検討する場を年2回設定し、生徒や学級へのサポートに効果的に活用する。</li> <li>○教育相談だよりを年間6回発行し、来室面談の活用を促すとともに、生徒と教職員の両方に安全、安心な学校生活への理解を促す。</li> </ul>	PL:教育相談主任 SL:生徒指導主任 教育相談コーディネーター
《勤勉》 授業改善による基礎学力の定着と規律ある生活習慣の確立により希望進路の達成を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ステップアップのためのアンケートにおける各教科の取組状況を4段階評価の平均3.1以上にする</li> <li>○ステップアップのためのアンケートにおける生徒指導に関する取組状況を4段階評価の平均3.3以上にする</li> <li>○就職・進学的一次内定率90%以上、進路達成100%にする</li> <li>○希望進路の達成95%、専門性を生かした進路90%</li> <li>○進路達成満足度3.5以上、学校の支援に対する満足度3.5以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業を大切にし、学習に対する意識を高め、「思考力・判断力・表現力」を育み、自分の考えを適切に表現できる能力を養うとともに「基礎学力の定着」に向けた取り組みを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業改善ロードマップをふまえた「互見授業期間(年間二期)」を設定し、他者授業の見学回数を平均で1.5回以上にする。</li> <li>○「毎週課題」を1学期中間考査後より開始し、年間15回以上実施する。</li> <li>○国語、数学、英語の三教科で、基礎学力向上対策の補充授業を2学期中間考査後より開始し、年間15回以上実施する。</li> </ul>	PL:教務主任 SL:総務主任
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○挨拶・清掃・礼儀(頭髪・服装)など「当たり前」のことが「当たり前」に出来るように取り組み、地域で活躍する生徒を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○登下校指導を生徒会やPTAとの連携により、毎月1回実施する。また、学校の現状(頭髪服装検査や自転車の施設率の結果)について毎月1回林工だよりを発行して情報公開する。</li> <li>○教職員・生徒の防災教育に関する研修を3回以上実施する。また、感染症や各種学校行事に対応した保健だよりを年間10回以上発行する。</li> </ul>	PL:生徒指導主任 SL:保健主任 防災教育コーディネーター
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○専門高校の特性を生かしたキャリア教育を充実させ、家庭との連携を密にして希望進路の達成を図る。</li> <li>○進学指導および公務員指導体制を強化する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○試験対策講座(面接・集団討論・グループワーク)と進路ガイダンス(進学希望者)をより充実させ就職・進学試験一次内定率90%以上、希望進路達成率95%、進路達成率100%とする。</li> <li>○1・2年生の事業所・現場見学実施率100%、2年生のインターンシップ参加率100%、出前授業・ものづくり教室の実施をとおしてキャリア教育を充実させ専門性を活かした進路達成90%にする。</li> <li>○校内公務員補習の充実、外部機関による公務員補習講座と公務員模試受験の推進、進学希望者の個別指導を徹底する。</li> </ul>	PL:進路指導主任 SL:進路指導副主任 各学年主任
《創造》 体験学習を重視し「1.1」の精神でものづくりや資格取得に挑戦させ、専門性を高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「林工マスター」顕彰獲得数120名以上</li> <li>○「ジュニアマスター」顕彰獲得数50名以上(ブロンズ以上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域、企業、行政、校種間の連携を進める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>林業:行政(大分県・大分森林管理署)との連携によるインターンシップの実施(2年生) 地元企業との連携による協議会、事業の実施。(3回以上)</li> <li>工業:行政、地域企業との連携によるインターンシップの実施(2年生)</li> </ul>	PL:学科主任代表 SL:各学科主任
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ものづくり」や体験学習の場を多く提供し、より専門性の高い生徒の育成を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>林業:校外実習、事業所見学等の実施。(年間4回以上) 専門企業におけるインターンシップの実施により、専門企業への理解を高める。(2年生全員参加)</li> <li>工業:事業所見学、現場見学等の実施</li> </ul>	PL:学科主任代表 SL:各学科主任
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種資格・検定の取得・合格に向けて、組織的に取り組み、生徒満足度100%を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大分県農林水産部林務管理課との連携事業(若い林業後継者就業促進事業)の継続による「伐木等の業務に係る特別教育(チェンソー取扱資格)」の2年生全員取得</li> <li>○フォークリフト技能講習、刈払機安全衛生特別教育取得者40名以上。</li> <li>○保護者に対する資格取得の奨励を実施する。(年間2回以上)</li> <li>○測量関係資格(測量士補)の取得。</li> <li>○林工マスター全員取得とジュニアマスターの取得者数を25名以上を目標とし、各種資格・検定の綿密な指導計画のもと、将来に役立つ技能の習得を重視した資格検定の指導を行い、合格率70%を目指す。</li> <li>○定期的に学科通信を発行し学校と家庭が共通認識、共同歩調で希望進路を達成し、保護者・生徒満足度100%を目指す。</li> </ul>	PL:機械科主任 SL:機械科副主任
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○第二種電気工事士資格クラス全員取得に取り組み、卒業までに100%取得達成を目指す。</li> <li>○第一種電気工事士、第三種電気主任技術者、工事担任者、2級電気工事施工管理技術検定学科試験、技能検定の補習を100%実施し合格させる。</li> <li>○インターンシップ・1・2年生の事業所見学・外部講師招聘などキャリア教育の充実を図り、早めの進路意識付けをする。</li> <li>○専門教科・キャリア教育の充実を図ると共に、2級建築・土木施工管理技術検定の合格率をともに70%、測量士補20%、技能検定80%に向けて指導の充実と受験に向けての意識の向上を目指し、専門系進路先決定80%以上及び一次合格90%を目指す。</li> </ul>	PL:電気科主任 SL:電気科副主任	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○大分県農林水産部林務管理課との連携事業(若い林業後継者就業促進事業)の継続による「伐木等の業務に係る特別教育(チェンソー取扱資格)」の2年生全員取得</li> <li>○フォークリフト技能講習、刈払機安全衛生特別教育取得者40名以上。</li> <li>○保護者に対する資格取得の奨励を実施する。(年間2回以上)</li> <li>○測量関係資格(測量士補)の取得。</li> <li>○林工マスター全員取得とジュニアマスターの取得者数を25名以上を目標とし、各種資格・検定の綿密な指導計画のもと、将来に役立つ技能の習得を重視した資格検定の指導を行い、合格率70%を目指す。</li> <li>○定期的に学科通信を発行し学校と家庭が共通認識、共同歩調で希望進路を達成し、保護者・生徒満足度100%を目指す。</li> </ul>	PL:建築土木科主任 SL:建築土木科副主任